



1 開催概要

内閣府は「理工系女子応援ネットワーク会議」を開催し、37団体・40名に出席頂きました。
(開催日：令和元年10月18日(金))

2 理工系女性人材の育成に係る基調講演

基調講演として、東京大学物性研究所より「“チョコレート・サイエンス” 経緯と概要」と題した女子中高生の物理系学科への進学を促す活動が紹介されました。

紹介されたプログラムは、長年の歴史を持つだけあって洗練されています。今では常に定員を超える受講申し込みと、参加者アンケートにて高い評価が寄せられており、回を重ねるごとに評判が高まっているとのことでした。

成功のポイントは、①イベント参加者の口コミに期待し、多くの女性の関心をよぶプログラム作りにしたこと、②物理という学問を身近に感じてもらうため、誰もが好きなチョコレートを教材にしたこと、③加工方法を変えることで変化するチョコレートを、見て・触って・味わってもらうことで結晶構造の違いを実感・理解できる工夫をしたことが挙げられました。今後はロゴ・名称のブランド化や、プログラム運用をマニュアル化するなどして、第三者へのコンテンツ提供も予定しているとのことでした。



3 理工系女性人材の育成に係る取組事例発表

立教大学と大成建設株式会社から、リコチャレとしての各自の取組事例を発表頂きました。立教大学からは、企業と連携した会社見学や、大学研究室で先端研究の一端を体験できる等、様々なプログラムと成果が発表されました。大成建設株式会社からは、土木や建築の現場見学プログラムが紹介されました。



4 グループディスカッション等

本会議に参加した理工系女子応援ネットワーク加入団体は、「夏のリコチャレ2019」でのイベント実施をはじめとして、組織ごとに様々な取組をなされています。グループディスカッションでは集客の工夫などのノウハウや課題の共有などの意見交換が行われました。会場には、橋本内閣府特命担当大臣（男女共同参画）も来場し、「新技術の開発には女性の視点や発想は欠かせない。スポーツ分野においても科学技術の活用は世界的な潮流であり、女子生徒の理工系分野への進路選択を促進



する“理工系チャレンジ（リコチャレ）”には、更に力を入れていきたい」と挨拶し、参加者との記念撮影も行いました。